

スリップ事故発生マップ（北陸自動車道 新潟県境～黒部川）

公開用

■車両スリップ事故発生箇所

凡例

事故多発区間
(10件以上のスリップ事故があった区間)

事故注意区間

特徵

「笹川橋～舟川はスリップ事故が多く、注意を要する。」

本マップのスリップ事故は、R2～R6の各年12月から翌年3月までの4か月間の5シーズンを対象期間とするもの。

朝（出勤時）午前6～9時



■車両スリップ事故発生箇所

凡例

事故多発区間

(10件以上のスリップ事故があった区間)

事故注意区間

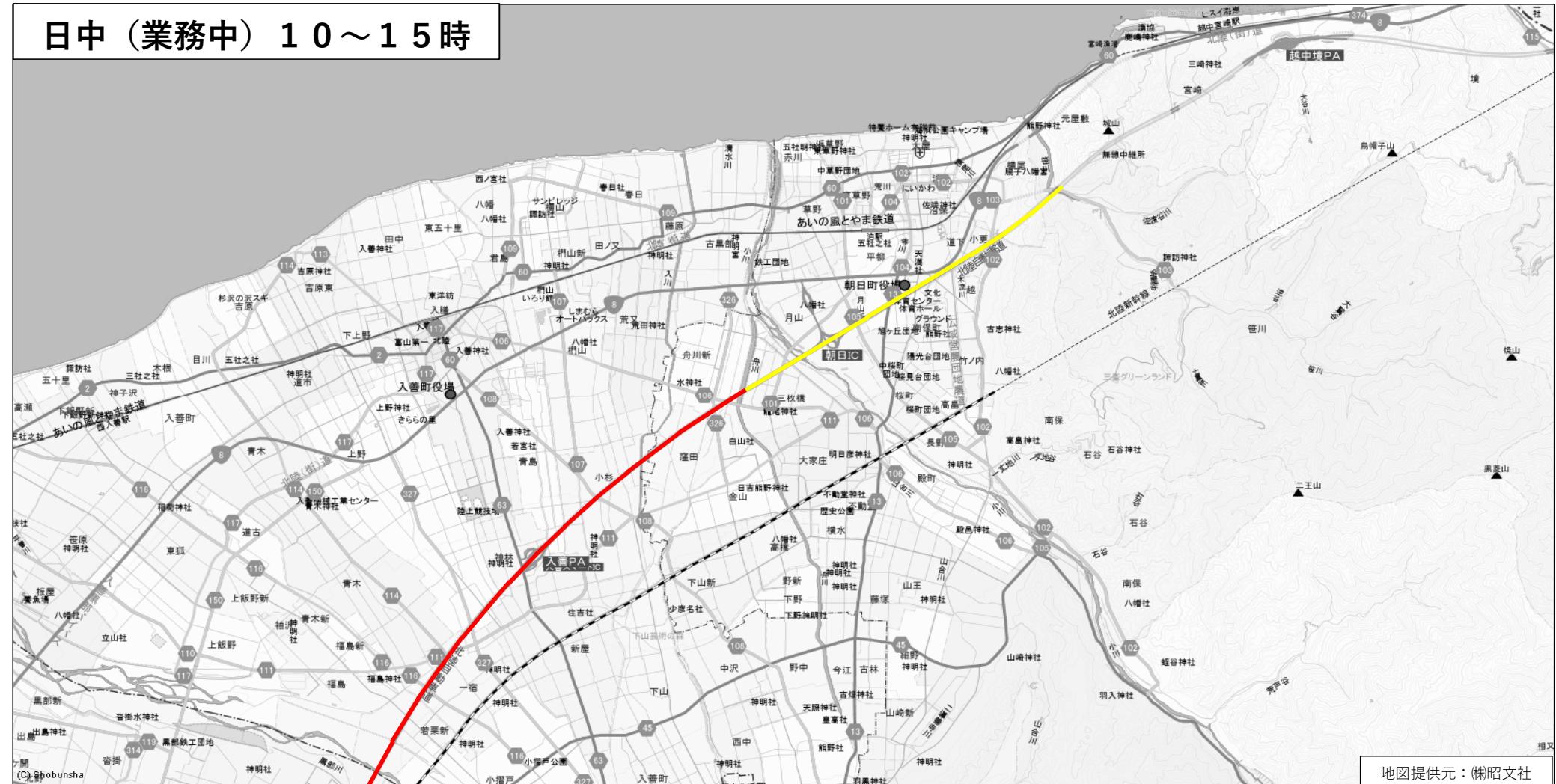
(相当数のスリップ事故があって、注意を要する区間)

特徵

笹川橋～舟川はスリップ事故が多く、注意を要する。また、舟川～黒部川橋は、スリップ事故が多発しており、特に注意を要する。

本マップのスリップ事故は、R2～R6の各年12月から翌年3月までの4か月間の5シーズンを対象期間とするもの。

日中（業務中）10～15時



■車両スリップ事故発生箇所

事故多発区間
(10件以上のスリップ事故があった区間)

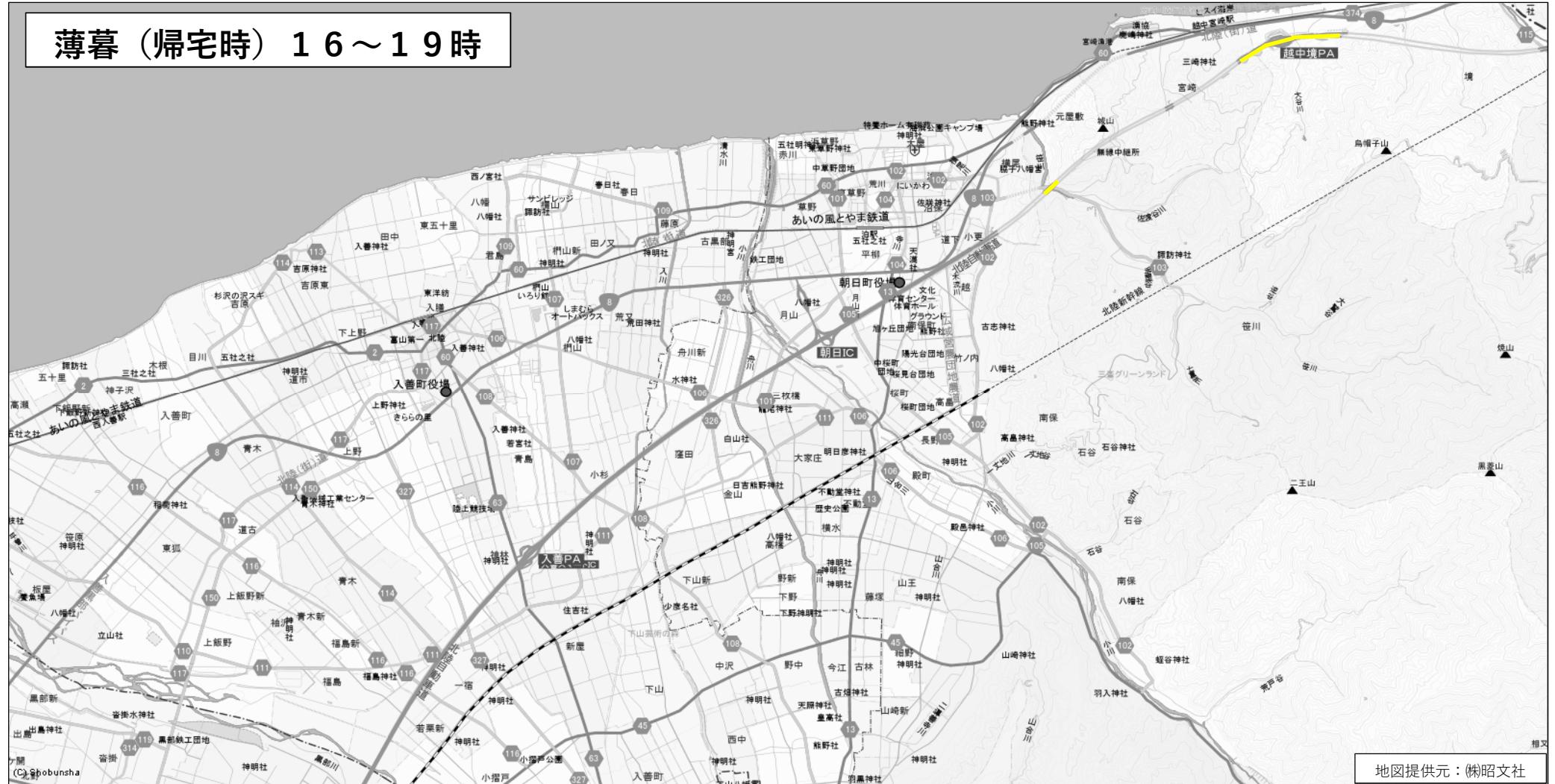
事故注意区間

特徵

城山トンネル出入口～宮崎トンネル出入口及び
越中境PA周辺は、スリップ事故が多く注意を要
する。

本マップのスリップ事故は、R2～R6の各年12月から翌年3月までの4か月間の5シーズンを対象期間とするもの。

薄暮（帰宅時） 16～19時



■車両スリップ事故発生箇所

事故多発区間

事故注意区間

特徵

越中境PA周辺及び泊トンネル出入口～入川は、スリップ事故が多く注意を要する。

本マップのスリップ事故は、R2～R6の各年12月から翌年3月までの4か月間の5シーズンを対象期間とするもの。

夜間（帰宅時等）20～翌5時

